

読本の全体構成について

1. 「自然に親しむ」 養老孟司委員長 （はじめに）
2. 「大発見は足もとに」 阿部夏丸氏 （メインストーリー）
3. 「健康な森と里と川と海は、そしてそれらのつながりは、なぜ私たちにとって大切なのか？」 小林朋道委員（森里川海のとつながりについて）
4. 子ども向けコラムとして
 - 森：「日本は『森林（もり）の国』」 竹内典之委員
 - 里：「伝説の巨人『ダイダラボッチ』と里山のこどもの暮らし」 辻英之委員
 - 川：「日本にはたくさんの川がある」 天野礼子委員
 - 海：「陸に上がった魚は、いま」 田中克委員
 - 自然体験の大切さ：「自然体験はどうして子どもに重要なのか？」 小林朋道委員
 - 生きものとの関わり：「ウナギとザリガニが教えてくれること」 奥田直久（環境省）
5. 大人向けとして
 - 「かわいい子には体験を！ー子どもの頃の体験は人生の基盤ー」 山本裕一委員
 - 「大人のみなさまにお伝えしたいこと」 千田純子（環境省）
6. 執筆者紹介
7. 奥付

○版型は A5 版（見開きで A4）、全体で 120 ページ程度を想定。

○表見返しや裏見返しには物語が展開する世界のイラストを入れるほか、本文中に登場する生きもののイラストや解説等を入れる。